# 横風たより

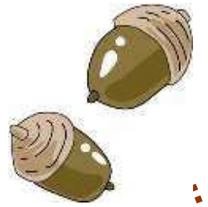


秋号

横越地区公民館

## 回　覧

こだま



新潟市横越地区公民館
館長　山本　英二

電車とバスの力を借りて通勤していますが、電車内の主役はやっぱり高校生かと思います。お約束のスマホ以外にも、爆睡に近い人やパンを食べている人、鏡片手に髪の手入れに余念のない人、床に座る人、テスト勉強する人、など、その中にあって高校生に挟まれながら、ひとりの大人が新聞を読んでいるなど、今どきやら懐かしいやらの時間が過ぎていきます。

〈今どきの若い人や高校生〉という言葉は昔も今も聞かれます。年齢を重ねてきたどんなおとなも、あの頃は今どきの若い人として、時代や社会を映す鏡の一つだったかもしれません。そんな今どきが変遷していく中で、変わらぬものもあるようです。当館を利用する若い人や高校生にこちらからからあいさつすると、気持ちよいあいさつが返ってきて、心地よい間（ま）が生まれます。金子みすゞの詩『こだまでしょうか』では、投げかけられた言葉に反応する人の心をうたっていますが、「おはよう」というと「おはよう」という。「こんちには」というと「こんちには」という。今どきの若い人や高校生の心は、良いことも悪いことも含めて、あの頃の若い人と変わらないのでないかと思います。



１１月、今どきの若い人　横越中学校生徒（2学年）にむけて『横越っ子　明日（みらい）への扉』を開きます。人生の先輩である3人のゲストスピーカー（造形作家・花ろうそく絵師・古民家レストラン店長）が、人生の選択をしてきた自身の想いや歩み等を話し、生徒と交流します。ゲストスピーカーから投げかけられた言葉に、心のうちで生徒たちはどんな反応を示すか・・・・。今から楽しみです。

これからも今どきの若い人は変化し、“信じられない”“もうついていけない”ことの連続になるかもしれませんが、投げかけられた言葉に反応する心は変わらず宿っているはずです。スマホ、爆睡、パン、髪の手入れ、テスト勉強・・・・、この光景が数年後どうなっているかはわかりませんが、今日も小さな館に来るであろう若い人たちとの〈こだまの時間〉は大切にしたいと思います。



## 学校×地域：横越っ子に届ける人権たいむ



横越地区公民館では、“横越のこどもたちの人権を大切に”を合言葉に、学校や地域等と協力しながら、こどもの人権について思い、感じる場を支援しています。

８月３日、横越小・中学校教職員、人権擁護委員、保護司、学校運営協議会委員、公民館活動協力員等の皆さんが参加され、「横越っ子に届ける人権たいむ（おとな編）」を開催しました。

今年度のテーマは『人権を尊重した学校づくり・地域づくり～犯罪（いじめを含む）被害者やその家族の人権について』。コーディネーターの木村いほ子さんより事例を交えながらのお話とともに、参加者同士が話し合い、こどもの人権について共有・共感を図りました。

### 横越っ子に届ける人権たいむ（こども編）　※直接 こどもたちに届けて

“大切な人”をキーワードに学校と連携し、横越のこどもたちが人権（大切な存在）について思い、感じる場をサポートします。※講師の木村さんは、令和６年度より人権たいむに関わっていただいています。

●横越小学校

期日　９月８日（火）　対象　横越小学校4学年（各クラス毎に行います）

□お話する人　木村　いほ子さん（公益財団法人　新潟県女性財団専門員）

□テーマ「ちがうけどおなじ　おなじだけどちがう～ひとりひとりは大切な人」



●横越中学校

□期日　１０月１５日（木）　□　横越中学校１学年（学年単位で行います）

□お話する人　木村　いほ子さん（公益財団法人　新潟県女性財団専門員）

□テーマ「私は大切な人～ひとりひとりの違いを認め合う」

### 横越文芸誌（秋号）　作品（俳句・短歌・川柳）募集




●応募数　　１人５句（５首）まで

●俳句のお題　　秋季雑詠

●応募〆切　　１０月９日（金曜）

●応募方法　　はがき・封書・FAXで、原稿末尾に住所・氏名・俳号等(ある方)
電話番号を明記してご応募ください。

●応募先　　横越地区公民館「横越文芸誌」係

※横越文芸誌は年４回発行。秋号は１１月末に発行で横越地区公民館にあります。



横越地区公民館

【発行　新潟市横越地区公民館　〒950-0218　新潟市江南区いぶき野１―１－２】

▼　TEL　025-385-2043　　FAX　025-385-4431　　Mail　yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp

▼　開館時間　月曜～土曜　9:00~21:30　　日曜　9:00~17:30

▼　休館日　第４月曜日（祝日の場合翌日）　年末年始（12/29~1/3）

横越地区公民館 あっちこっち インフォメーション 秋→冬

# ちょこっとおしゃべり vol7

## 横越地区公民館文化祭

★いつ　10.24（土）～ 25（日）
★どこで　横越地区公民館
★おしながき　作品展示　ステージ発表
学び・体験ひろば 新米試食会
あそびのひろば SDGs
チャリティー販売・軽食販売など
※10 月中旬、当日のプログラムをご案内します。



## 横越っ子明日（みらい）への扉

★いつ　11．17（火）11:45～12:35
★どこで　横越中学校
★おしながき　人生の先輩たちによるお話と生徒との交流
【対象】
横越中学校
生徒の皆さん
3人のゲストスピーカーが
生徒の皆さんにご自身の人生における選択をお話。
子どもたちの明日（みらい）にエールを贈ります。



## 幼児期家庭教育学級

★いつ　11/5・12・19（いずれも木）10:00～12:00
★どこで　横越地区公民館
★おしながき　（1）こどものイヤイヤ、私のイライラ
（2）はじめての足育講座～こどもの足と靴のおはなし
（3）こどもの心に寄り添う接し方など
※保育あり。
※9月ごろ、区だよりなどで募集案内します。



## 親子で我が家の味噌をつくろう

★いつ　1/9（土）13:30～16:00
★どこで　横越地区公民館
★対象　小学生とその保護者
★おしながき　自家製の味噌づくり
※翌年度：味噌を持ち寄り 味比べを行います。
※11 月ごろ、区だよりなどで募集案内します。





## ～～～スピーカー　坂井　俊一さん（ネクサス・わかば施設長）～～～

横越を支える人たちのお話を聴くシリーズ。7回目はネクサス・わかば施設長　坂井俊一さんです。

### Q　ネクサス・わかばはどのような施設ですか。

「生活介護」「就労継続支援 B 型」「短期入所」などの事業を行っています。対象は重度心身障がいのある方から行動障がいのある方など、幅広く障がいのある方の生活を支えています。

【ネクサス・わかば】には、【こめっと】という放課後等デイサービス施設が併設され、在学中の18歳未満の障がいのある方が利用しています。こめっとでは家庭や学校と連携しながら、活動をとおしてコミュニケーション力を育み、こどもたち個々の障がい特性に合わせた自立の促進と、放課後等の居場所づくりを行っています。

### Q　ネクサス・わかばを利用者する皆さんにはどのように過ごしてほしいですか。

一人一人個性があり、できることややりたいことが違います。音楽活動では、ネクサス・わかばの歌をつくり、みんなで歌いました。ここを利用することで、安心して自分らしく過ごしていただくとともに、自分でできることを見つけ、喜びや楽しみを感じてほしいと願っています。

### Q　ネクサス・わかばで大切にしていることは何ですか。

人と人とのかかわりが基本となる施設なので、つながりや絆が大切です。ネクサス・わかばもこめっとも障がい福祉サービス事業として、障がいのある方の生活を支えることが目的ですが、その先には“ネクサスに関わるすべての人がハッピーに”というものがあります。利用される皆さんはもとより、家族や職員も幸せになれる施設になることを目指しています。



自分らしく働きます



こめっとでの一コマ